

令和6年度事業計画

☆事業計画は、定款第4条の7つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

1) 看護職の研修（生涯学習支援）に関する事業【重・2・3】

(1) 研修の充実・強化

①研修計画の実施・評価

研修計画に基づいた研修運営

1. 専門職としての活動の基盤となる研修
2. 看護・医療政策に関する研修
3. 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修
4. 看護管理者を対象とした研修
5. 資格認定教育
6. その他（他団体との共催研修等）

総会要綱内研修実施録の掲載

②研修計画の策定・広報

教育プログラム開発能力向上に係る予算化（教育研究開発費）

教育ニーズ調査と情報収集、研修企画調整、研修計画に関する意見収集、研修一覧の作成・発送

ホームページ・広報誌への掲載、研修管理システムmanaableへの掲載

③看護職の生涯学習ガイドラインの普及促進

「看護職の生涯学習ガイドライン」・「看護師のまなびサポートブック」の活用推進

日本看護協会からの情報収集と発信

④行政との連携による看護師等の資質向上

山形県委託研修の実施

⑤その他

キャリアパスへの登録推進とポートフォリオの利用促進、受講履歴の入力・管理

研修受講システムmanaable運用

(2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援

①研修における講師の登用

②認定看護管理者の委員・認定教育における演習支援者としての活用

③職能委員会及び常任委員会の委員として活用

(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援

①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり

研修、介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供、認定看護師等活用事業（出前研修、集合研修）

(4) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実

①委員会、事務局連携による研修企画

「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」を活用した訪問看護師養成講習会（山形県委託）

認定看護師活用事業（山形県委託）

施設看護職を対象とした認知症看護研修（山形県委託）

在宅療養支援能力向上研修（外来看護職員対象・地域支援者・管理者対象、全看護職対象）

②訪問看護総合支援センターによる研修企画

(5) 非会員への学習支援

県内保健・医療・福祉施設へ研修一覧送付、県内診療所へ研修案内送付、外部会議・ホームページ・SNSによるPR

(6) 研修環境の整備・充実

①長期研修（7日以上）時の開館時間延長 開館時間8時30分～18時（1時間延長）

②A V機器・パソコン等の定期点検と整備

長期研修前のチェック、研修前の準備、最新機器対応に向けた検討、Web研修を含めた研修運営マニュアル整備

③訪問看護会館研修室の整備と活用（定期チェックと研修前点検・準備）

<p>2) 施設内教育充実を支援する事業【重・2】</p> <p>(1) 医療機関院内教育充実への支援</p> <p>①教育担当者・責任者研修の充実 JNAオンデマンド研修活用の推進 「看護職の生涯学習ガイドライン」の普及促進、「看護師のまなびサポートブック」の活用促進 保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）科目の一部公開</p> <p>(2) 新人看護職の臨床研修体制の強化</p> <p>①新人研修の開催による支援 新人研修 ②新人育成に携わる担当者研修 実地指導者研修・研修責任者研修・教育担当者研修</p>	
<p>3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・2・3】</p> <p>(1) 認定看護管理者教育の推進</p> <p>①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価 ファーストレベル運営19日間、分散研修、定員80名。 サードレベル運営32日間、分散研修、定員20名。 演習企画と認定看護管理者の活用による運営、受講者への学習支援、講師等との連絡調整と講義のサポート、研修運営の評価</p> <p>②セカンドレベル、サードレベル修了者実践報告の開催 認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会開催</p> <p>③令和7年度研修企画 ファーストレベル、セカンドレベルの開催要項検討</p> <p>④認定看護管理者教育課程教育運営委員会のスムーズな運営 適正な受講者選考と受講修了審査、看護管理実践報告会の企画・運営、研修企画・運営支援 専任教員の資質向上のための研修、学会参加</p> <p>⑤日本看護協会認定部との連携 教育機関審査・申請システム入力と認定教育に関する最新情報収集</p> <p>(2) 看護管理者のスキルアップ支援</p> <p>①認定看護管理者教育課程ファーストレベル・サードレベルの公開講座の開催 ②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催</p>	
<p>4) 医療安全教育に関する事業</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修の開催</p> <p>①医療安全管理者養成研修の実施・評価 ・研修の運営 JNAオンデマンド研修+本会集合研修 ・受講者の学習支援、研修運営の評価</p> <p>②令和7年度研修企画 日看協と連携し、集合研修の企画</p> <p>(2) 医療安全推進活動</p> <p>①医療安全スキルアップ研修開催 ②医療・看護安全対策委員会と連携した事故・再発防止の啓発活動 ③「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催 ④日本看護協会との連携 医療安全推進会議（開催未定）への出席</p>	
<p>5) 図書室運営に関する事業</p> <p>(1) 図書・文献サービスの充実</p> <p>①図書室の充実 図書・定期購読雑誌・その他刊行物・DVDの入荷、管理、広報、貸出し、蔵書点検</p> <p>②文献検索機能の向上 ・パソコンによる文献検索の普及 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置</p>	
<p>2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業</p>	
<p>1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・2】</p> <p>(1) 山形県看護研究学会の開催</p> <p>①学会の企画と運営 11月21日開催 日本精神科看護協会山形支部との協力体制による山形県看護研究学会規則に則った運営</p> <p>(2) 看護研究の推進</p> <p>①学会委員のスキルアップ 第55回日本看護学会学術集会への参加（熊本：9月27日～29日） ②看護研究支援と研修会開催</p>	

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

1) 看護業務に関する事業【重・1】

(1) 職能委員会活動の活性化

- ①日本看護協会職能委員会との連携
 - ・日本看護協会通常総会への出席（6月6・7日 東京国際フォーラム）
 - ・全国職能委員長会議への出席（7月28日・3月1日）
 - ・地区別職能委員長会への出席（10月4日 宮城県）
 - ・調査活動への協力、日本看護協会職能委員会事業推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取組み
- ②保健師職能委員会活動
 - ・保健師の力量形成のための現任教育の充実
 - ・助産師職能と連携した母子県活動を推進する地域ケアの構築
 - ・保健師職能としての活動を再認識し、様々な事業を推進する
- ③助産師職能委員会活動
 - ・母子のための地域包括ケア推進における助産師の役割発揮と地域連携の推進
 - ・研修会企画及び運営 9月13日
 - ・助産実践能力習熟段階（CLOCMiP®）の普及・推進および更新・申請の支援
 - ・助産師活用推進事業の推進 助産師に関する実態調査、助産師出向・短期交流研修への参加促進
 - ・山形県看護協会三職能の情報交換と連携
- ④看護師職能委員会Ⅰ活動
 - ・看護師職能を取り巻く現状と課題の明確化及び対策の検討
 - ・病院看護師の在宅療養支援力と地域につなげる看護の強化
- ⑤看護師職能委員会Ⅱ活動
 - ・高齢者の日常生活援助に関わる看護職としての質の向上
 - ・地域包括ケアの推進における多職種連携の強化
 - ・地域での看護力強化（看看連携）
- ⑥保健師・助産師・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 通常総会後の研修会開催 6月14日（金）
- ⑦三職能4委員会に関する情報の発信
職能に関する情報収集と情報発信、広報誌へ「職能だより」掲載、山形県との業務推進懇談会への課題提起、職能委員会間の情報交換

(2) 助産師活用推進事業の展開（山形県委託事業）

- ・助産師出向（研修）のマッチング
- ・分娩取り扱い医療機関における助産師就業に関する実態・意向調査
- ・短期交流研修の実施
- ・院内助産・助産師外来の普及・理解促進のための研修会開催
- ・分娩取り扱い医療機関の看護管理者意見交換会開催
- ・助産師活用推進事業協議会開催 年2回
- ・事業の啓発チラシの作成

2) 看護制度に関する事業【重・3】

(1) 准看護師への進学支援及び学習支援

- ①奨学金制度の活用
ホームページ等での公募、日本看護協会の奨学金の活用推進
- ②准看護師からの進学相談対応（随時対応）

(2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応

- ①看護職への道をPRする
中学校・高等学校での出前講座、ハローワークにおける進路相談、ナースセンターにおける進路相談

(3) 日本看護協会との連携

- ①日本看護協会通常総会への出席 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師へ情報発信

(4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信

日本看護協会からの情報を受け会員へ情報発信 必要時、行政へ提言

(5) 特定行為の研修制度法制化の周知

すべての医療職を対象に特定行為研修修了者活用の研修開催、広報誌等での活動の周知

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・1・2】

(1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進

- ①令和5年度看護職員就業状況及び勤務環境調査
6月に調査実施、調査結果をホームページで公表、データの活用

②潜在看護師等復職研修

病院等施設実施研修開催 受入れ病院決定後受講者募集、eラーニングを活用した復職支援研修開催
LINE公式アカウント活用したナースセンター登録者・届出登録者・ハローワーク相談者への情報提供、研修・セミナー
運営評価

③働き続けられる職場づくりの推進

- ・勤務環境改善の継続
- ・勤務環境改善推進委員会による支援活動、看護の業務改善事例の紹介・推進（「看護の業務改善in山形」開催）
- ・勤務環境改善推進委員会の活動推進、夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進
- 看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知、短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進
- 県内病院離職者実態調査実施・調査結果をホームページで公表・結果の活用
- ・山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携

④看護師等職場説明会開催 5月3日 山形テルサ 対面形式の病院個別説明会&看護師国家試験対策セミナー

⑤日本看護協会、関係団体、行政との連携強化

- ・都道府県労働問題担当者会議への参加
- ・日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進、労働と看護の質向上のためのデータベースDiNQL事業の活用推進
- ・都道府県ナースセンター地区別意見交換会開催、地域に必要な看護職確保推進事業意見交換会への参加
- ・山形県との業務推進懇談会へ課題提起
- ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画、県の修学資金の利用促進
- ・「山形県医療勤務環境改善支援センター」との連携
- ・山形労働局との協働体制の構築
- 連携によるハローワークでの「看護の仕事相談会」の利用者拡大・就業支援の強化、「医療労務管理相談コーナー」
活用の周知、「WECやまがた」への参加、福祉のしごとフェア参加

(2) ナースセンター事業運営の強化

①ナースセンター事業の充実

- ・求職・求人相談の充実 Zoomを使用したオンライン就業相談の実施
- ・LINE公式アカウントのチャット機能を活用した就業相談の実施
- ・離職者等へのナースセンター届出制度周知と代行登録推進 登録者への情報提供と復職支援の充実
- ・「マイナンバー制度を活用した看護職の人材活用システム」の周知・活用
- ・相談件数、再就業率のアップ 事業成果の可視化とデータの活用
- ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成

②看護職員就業支援事業

- ・施設訪問による求人登録増加
- ・NCCSシステムの周知と普及活動
- ・ハローワークとの連携継続の強化（看護師業務・求人説明会の開催）
- ・県内各地域でUターンによる就業相談 Uターン就職者の就業状況調査を実施し、Uターン就業支援に繋げる
- ・県Uターン情報センター等と連携し、定期的な情報発信と県内ならびに首都圏等での相談ニーズに対応する。（LINE等）
（看護への道セミナー開催 7月29日 山形テルサ アプローチズ、移住・定住フェアへの参加）

③看護業務啓発促進事業

- ・「ふれあい看護体験」の開催 ①5月9日～5月23日 ②7月24日～8月2日
- ・「看護の出前授業」の実施（通年実施）
- ・「看護の日・看護週間」のPR
- ・「看護の日・看護週間」における「みんなで話そうー看護の出前授業」の実施
- ・かんごちゃん幼稚園・保育園訪問

④潜在看護師掘り起こし事業

- ・令和6年度山形県看護職『就職ガイドブック』作成、関係機関、「看護師等職場説明会」参加者へ配布
- ・マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信（ホームページ更新、LINE公式アカウント）
LINE公式アカウント情報発信
- ・登録者への情報発信と復職相談の対応 eナースセンター・とどけるん登録者へEメール配信
- ・地域に必要な看護職確保推進 地域の看護管理者会との連携推進
- ・セカンドキャリア等研修会の開催（ナースカフェの開催）
- ・「看護の人材確保のためのセミナー」の開催
- ・協会SNS（Facebook、X、Instagram）を活用したナースセンターに関する情報発信
- ・YouTubeチャンネルの動画作成・投稿・周知

⑤ナースセンター利用促進事業

- ・県内ハローワーク（8カ所）における看護の仕事相談会開催
- ・ハローワークやまがたとの連携強化 連携調整会議開催
- ・ハローワークでの相談強化、施設訪問によるナースセンター事業の周知活動と利用促進
施設訪問報告を兼ねた「私たちの職場自慢！」のLINE掲載

⑥ナースセンターの運営に関すること

- ・ナースセンター運営会議開催（年1回） 8月予定
- ・事業報告書300部作成、ナースセンターだより年3回発行

(3) 看護職の健康増進

①看護職のメンタルサポート

- ・相談窓口の周知・広報
- ・相談員のスキルアップ（職業紹介従事者講習会、キャリアコンサルティング研修等）
- ・実績評価

(4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及

- ①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知 加入の促進

2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・1・4】

(1) 県民の健康づくり支援

①県民への相談事業「まちの保健室」の開催

- ・「まちの保健室」運営マニュアルの見直し
- ・各支部との連携
- ・支部「まちの保健室」の常設化検討 地域住民を対象とした常設型「まちの保健室」開催
- ・ボランティア育成研修会開催 ボランティア登録者の拡大
- ・他団体、事業所依頼の「まちの保健室」開催への対応 山形新聞・山形放送 8大事業「県民健康講座」
- ・やまがた健康フェア2024での「まちの保健室」9月
- ・南沼原地区「文化祭」での「まちの保健室」11月
- ・関連団体との共催 「まちの保健室」連絡協議会の開催（必要時）

②看護に関するイベント事業 「看護の日・看護週間」のPR

③医療安全フォーラム 「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催

④次世代育成支援事業

- ・やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託）
- ・いのちの教育・性の健康教育講師派遣、実践者の育成、研修開催、「性の健康支援ネットワーク活動指針」の活用
- ・性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員

⑤電話相談事業

健康相談、自殺対策、青少年関係

⑥県民及び看護職の禁煙推進活動【重・2】

山形県四師会共催による禁煙活動事業開催、関係機関との連携、受動喫煙防止宣言の普及（チラシ配布・協会内掲示）
5月31日世界禁煙デーから6月6日までの禁煙週間にイエローグリーンキャンペーン実施

(2) 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備【重・4】

①新型コロナウイルス感染症等対応人材（IHEAT）研修と運用

山形県IHEAT新規登録者対象の研修開催、登録者情報更新の周知と確認、保健所応援要請の人材調整

(3) 災害支援体制の整備

①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知

事業継続計画（BCP）策定
事務局内災害対応マニュアル整備、災害支援体制の周知

②災害支援ナース育成の強化

- ・災害支援ナース養成研修会の開催
- ・支援ナース連絡体制の模擬訓練への参加
- ・山形県・市町村合同総合防災訓練参加

③看護職の災害看護の意識高揚

支援ナース登録者の拡大
山形県看護研究学会や研修等での支援ナース募集のPR活動

④県民に対する防災意識の啓発 災害時の対応、災害支援活動等の館内展示

⑤災害看護支援体制のネットワークづくり

- ・日本看護協会との連携 災害看護対策担当者会議出席、（災害支援ナース派遣調整合同訓練参加）
- ・県内医療関係団体連携による支援活動の検討
- ・行政等との連携 関連会議・研修会出席、山形県・市町村合同総合防災訓練参加、山形市防災フェスティバル参加
- ・災害支援ナース派遣コーディネーターの役割発揮

(4) 東日本大震災支援活動

①県内避難者の心のケア事業（福島県委託事業）

- ・山形市、米沢市における「まちの保健室」開催
- ・各市町村避難者支援担当と連携した「まちの保健室」開催、戸別訪問につなげていく
- ・支援者のスキルアップ、研修会開催（ボランティア育成研修会）

②県内避難者支援ネットワーク関連

- ・県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加、避難者支援協働ネットワーク意見交換会
- ・「避難者生活相談支援事業」被災者生活支援調整会議への出席
- ・行政、関係団体との連携

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

1) 在宅ケア等に関する事業【重・1】

(1) 地域包括ケアシステムの推進

①地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及

- ・地域包括ケアシステム構築推進の取組み 研修会開催、退院支援・地域連携の推進、県内病院看護管理者懇談会開催
- ・3職能4委員会の連携
地域包括ケアシステムにおける看護の役割（地域につなぐ看護研修）、地域と施設の看護職ネットワーク構築
- ・支部活動の活性化
合同委員会時の支部長会へ副支部長出席、地域の会議内容の共有と意見交換、
地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への支部長出席と発言（オブザーバーとの連携）
- ・地域における看護管理者のネットワーク構築
「地域の看護力強化支援事業」の実施（6か所実施）、地域単位での多職種連携強化
- ・母子のための安心安全な地域ケアの推進
医療的ケア児等の体制整備等の会議出席

(2) 訪問看護総合支援センター事業（県委託）

①事業所運営基盤整備支援

- 訪問看護の総合相談窓口
- 訪問看護事業所経営安定化研修
- 訪問看護普及活動
- 訪問看護総合支援センター事業運営委員会

②人材確保 就労相談件数

- ・看護職の就業及び転職促進 ナースセンターと連携し情報提供、相談対応、就労斡旋
- ・訪問看護担い手創出事業 入門コース（1日体験）、実践コース（2～5日体験）
- ・新卒看護師採用に向けた取組 看護学生に訪問看護の周知

③訪問看護の質の向上

- ・教育体制の組織化
訪問看護師養成講習会開催 eラーニング活用研修：7月1日～11月22日
専門看護師、認定看護師派遣研修事業15か所
訪問看護事業所管理者研修
訪問看護技術研修 3回
- ・訪問看護に関する情報収集と分析
訪問看護事業所実態調査

④地域での連携強化

- ・ブロック会議、連携推進
- ・感染症拡大及び災害発生時における訪問看護提供体制の整備、BCP

6. 施設の貸与に関する事業

1) 施設運営に関する事業

(1) 施設の賃貸運営

①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出

- ・事務所としての賃貸契約先：日本精神科看護協会山形県支部
- ・研修室の外部貸出、自動販売機設置3階

②看護協会駐車場の貸出

③訪問看護会館の貸出 研修室、会議室の積極的な貸出

7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1) 組織に関する事業

(1) 協会組織の強化

①公益社団法人の円滑な運営 定款の遵守

②協会事業組織の検討 各種パンフレットの見直し・作成と活用、事務局の役割強化

③支部活動の活性化

- ・支部運営の強化
支部担当執行理事のサポート体制構築、支部規則・本協会との確認事項の周知と徹底、支部活動の効率化、
地域密着の活動推進
- ・支部長・副支部長会議の開催 支部運営の情報交換、副支部長の参加（支部及び委員会に関する会議時）
- ・支部長の地域内会議への出席 会議内容の共有
- ・地域内の看護職ネットワーク構築 看護管理者会議・職能間の連携会議等、看護管理者懇談会開催と支部長の出席
- ・教育委員会の企画による研修会開催
- ・「まちの保健室」運営委員会の企画による「まちの保健室」開催
運営マニュアルの活用、ボランティアの活用、地域密着型「まちの保健室」の推進
- ・日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 参加報告の共有

④会員拡大対策の強化

新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、協会事業のPRによる会員拡大、各職能委員会による会員拡大の呼びかけ、施設訪問による会員拡大の呼びかけ

(2) 会員意識の高揚と会員拡大

①会員拡大への働きかけ

ホームページの全面リニューアル、新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、非会員施設・会員施設未加入者への働きかけ（入会案内チラシ等の活用・送付）事業案内パンフレット・研修一覧等の送付、ホームページ・SNSでの広報

②看護学生への働きかけ

看護教育機関への働きかけ（ガイドブック等の活用及び送付）、職能団体活動の講話等、入学式・戴帽式及び卒業式等への出席（祝電）

③新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用

日本看護協会との契約締結・維持、ナースシップシステムによる会員管理、会員専用Webページ「キャリアナース」への登録推進

2) 組織の運営に関する事業

(1) 組織運営の円滑化

①総会開催 総会運営規則に則った総会運営、総会要綱作成、選挙規則に則った役員改選

②役員等の推薦 改選役員等候補者の推薦

(2) 組織運営に関する会議

①総会 年1回 6月14日（金）

②理事会 6～7回開催予定

③常務理事会 2～3回開催予定

④支部及び委員会活動に関する会議 年2回（6月・1月）令和6年度重点事業と支部・委員会活動について

⑤各職能・常任・学会・認定委員会 活動計画の提示と活動支援

(3) 日本看護協会との連携

①日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会 年1回（6月6・7日：東京国際フォーラム）

代議員派遣、各支部の一般参加への支援

代議員・予備代議員等研修会（5月20日）

②日本看護協会理事会 年6回程度 会長出席

③法人会員会 年5回程度 会長出席

④都道府県看護協会職能委員長会 年2回（8月2日・3月7日）

⑤地区別法人会及び職能委員長会 年1回（10月3～4日：宮城県）

⑥都道府県看護協会政策責任者会議 年1回（9月19日）

⑦都道府県看護協会看護労働担当者会議 年1回（7月18日）

⑧会員情報管理情報交換会 年1回（7月4日）

⑨看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議 年1回（11月22日）

⑩都道府県ナースセンター事業担当者会議 年1回（5月21日）

⑪都道府県看護協会広報担当役員会議 年1回（11月7日）

⑫都道府県看護協会図書室担当者会議 年1回（9月12日）

⑬都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 年1回（12月19日）

⑭全国看護基礎教育担当役員会議 年1回（1～2月）

⑮認定看護管理者教育機関担当者会議 年1回（8月8日）

⑯医療事故調査制度に関する情報交換会 年1回（9月）

⑰日本看護サミット 2年1回

⑱訪問看護サミット 年1回（11月30日）

⑲その他会議

都道府県看護協会事務担当者会議 年1回

北海道・東北地区看護協会長・事務局長連絡協議会

災害支援ナース派遣調整合同訓練

(4) 他団体との連携

管理運営会議・事務局

3) 広報活動に関する事業

(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実

①ホームページ及びSNSによる情報提供 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新

②広報誌「山形いぶき」の編集と発行 年4回発行、マスコミ関係・公立図書館等へ送付

③行政、関係団体と連携した広報活動

記者クラブへの投げ込み、ニュースリリース発行、県高齢者支援課へ介護福祉関係施設に対する情報発信協力依頼、山形県老人保健施設協会・山形県老人福祉施設協議会との連携

④山形県看護協会ホームページ全面リニューアル

⑤日本看護協会ニュースの活用 日本看護協会より毎月15日発行

4) 会館管理・運営に関する事業

(1) 会館管理・運営に関する事項

- ①資金計画の円滑な運用 会館維持管理費の適正運用、長期資金計画の見直し検討
- ②会館管理の運営 建物・駐車場の維持管理、施設利用状況把握、使用規程に関する検討
- ③機器類の管理 機器及び諸設備の整備・保守、機器類の貸出

(2) 施設の整備・保守・管理

- ①施設の維持管理
 - ・法定保守点検 電気設備（隔月）、火災報知機（年2回）、エレベーター（毎月）
 - ・任意保守点検 空調機、自動ドア、AV機器
 - ・業務委託関係 警備保障、緑地帯の維持管理、館内外清掃、駐車場除雪（冬季必要時）、会計管理（消費税、法人税等の税務処理）、ホームページ等の保守・管理
- ②訪問看護会館の維持管理 具体的な計画策定と実施

(3) 防災意識等の高揚

- ①山形県看護協会での防災訓練等 AEDを含む訓練実施（年1回）

(4) 関係団体との連携

- ①アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携
アルカディアソフトパーク内の一斉清掃 年2回（4月・10月）、樹木の消毒 年1回、その他親睦会等開催

5) 渉外活動に関する事業

(1) 看護についての諸問題の解決

- ①国・山形県等への陳情 政策・要望等の陳情（看護関係予算、看護教育・継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等）
- ②山形県看護連盟との連携 合同会議の検討、合同研修会の企画と実施

(2) 関係機関との協力と連携

- ①関係機関・団体への参画
関係機関・団体等との連携・参加・名義後援、山形県との業務推進懇談会（再掲）、山形県四師会との連携、諸会議への参加、諸施策審議会への参加
- ②行政への働きかけ 要望書の提出

6) 会員の相互扶助に関する事項

(1) 会員の福利厚生への推進

- ①会員の福利厚生へのPR
 - ・表彰候補者の推薦並びに表彰
日本看護協会長表彰候補者及び名誉会員推薦のための調査と推薦、山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦、県知事感謝状・功労者表彰・奨励賞等候補者推薦
 - ・規定による会員への見舞い 災害見舞、慶弔見舞
 - ・会員特典の検討
 - ・ハウスメーカー、保険会社の斡旋